

「サダコと折り鶴」 パネル展

この世で一番かけがえのない大切なもの……。それは「いのち」
そのかけがえのない大切な「いのち」を、一瞬にして奪う原子爆弾の脅威。
広島・長崎原爆の日や終戦の日を迎える 8 月に、今一度平和の大切さ、一人ひとりの「いのち」を守ることの大切さを考える機会になればと願い、広島原爆資料館所有の「サダコと折り鶴」のパネル展を開催いたします。佐々木禎子さんは、2 歳のときに広島で被爆したにも関わらず元気に過ごしていましたが、小学校 6 年生の 11 月頃より体調不良となり、1955 年 10 月 25 日、亜急性リンパ腺白血病で亡くなりました。禎子さんは病院で元気になることを信じて鶴を折り続けました。

日 程 2026 年 8 月 1 日(土)10:00~8 月 18 日(火)12:00

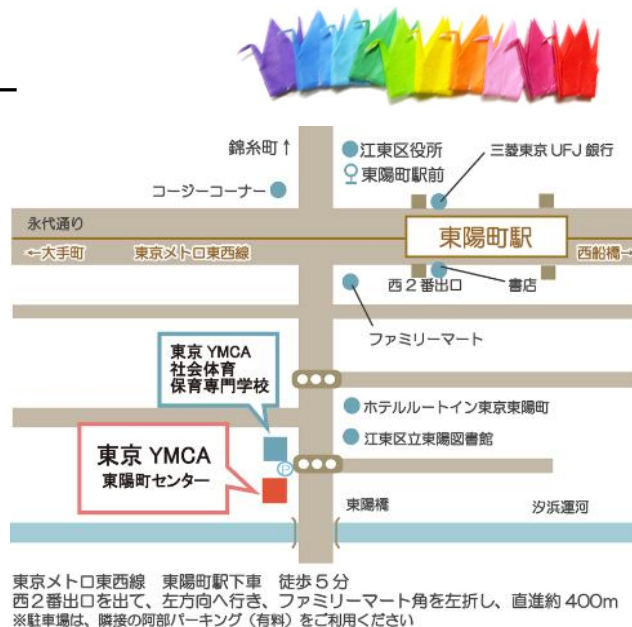
*開館時間内はいつでも、ご自由にご覧いただけます。(無料)

会 場 東京 YMCA 東陽町センター1 階ロビー

主 催 東京 YMCA 東陽町コミュニティーセンター



広島平和記念公園にある原爆の子の像(千羽鶴の塔)



聖書「コリントの信徒への手紙二」第13章11節

終わりに、兄弟たち、喜びなさい。完全な者になりなさい。励まし合いなさい。

思いを一つにきなさい。平和を保ちなさい。

そうすれば、愛と平和の神があなたがたと共にいてくださいます。